

2020年度委員会検討報告

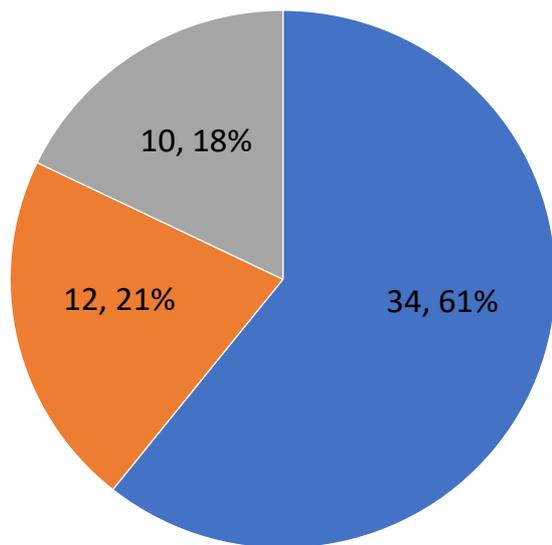
## 「放射線部門の安全対策」

～今、備えておくべき対策～ アンケート結果報告

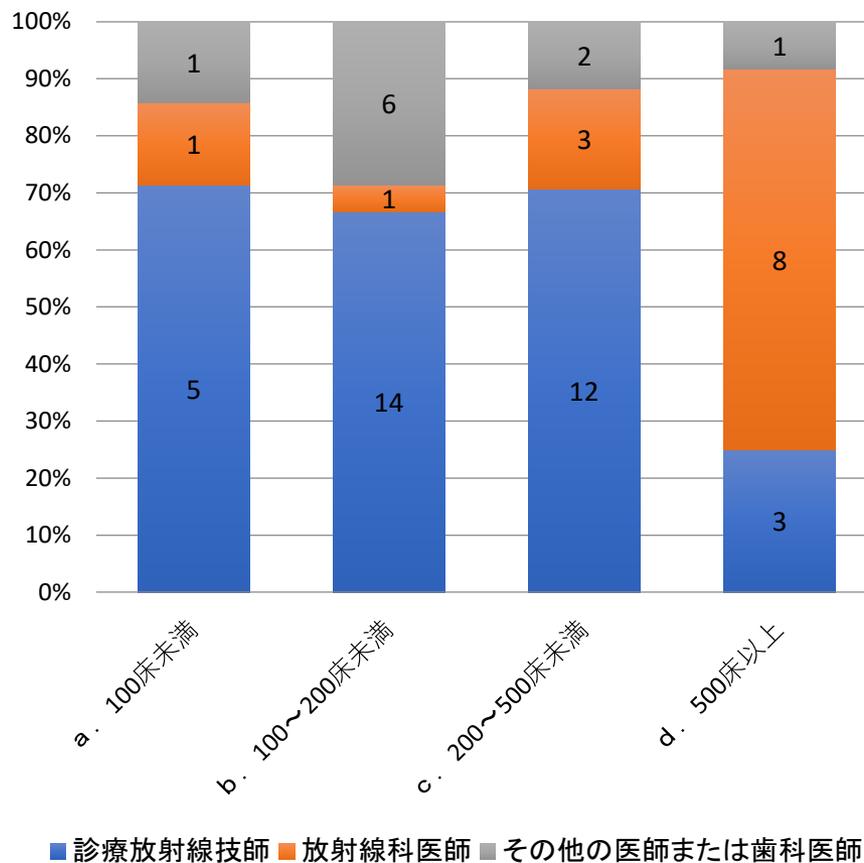
### ③医療被ばく管理

全国病院経営管理学会 放射線業務委員会委員  
相澤病院 安楽弘一

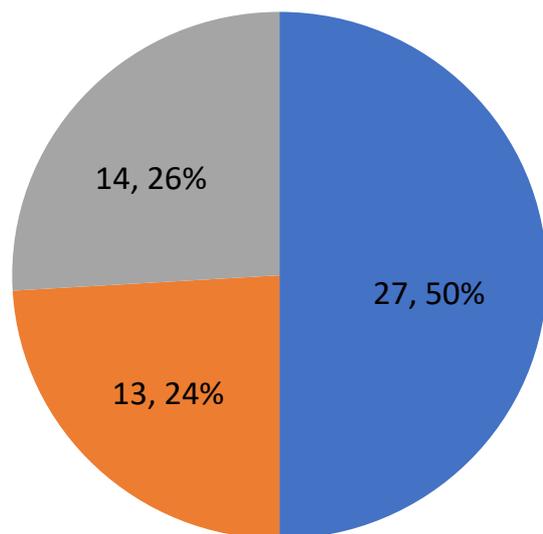
# 4-① 医療放射線安全管理責任者職種



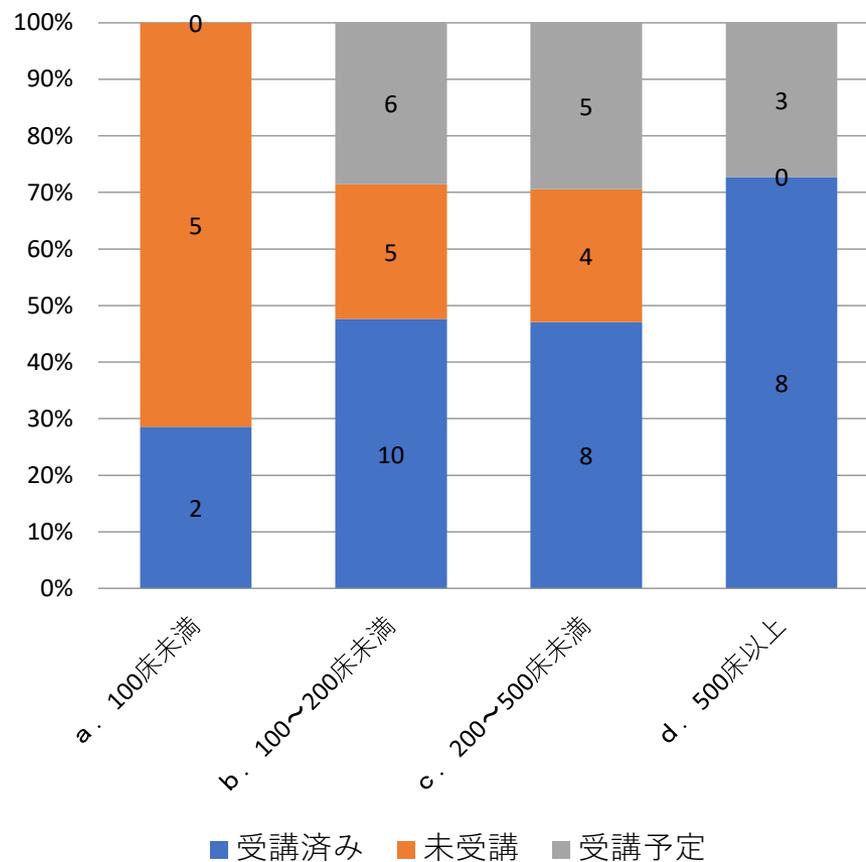
- 診療放射線技師
- 放射線科医師
- その他の医師または歯科医師



## 4-② 医療被ばく安全管理者講習会の受講



■ 受講済み ■ 未受講 ■ 受講予定

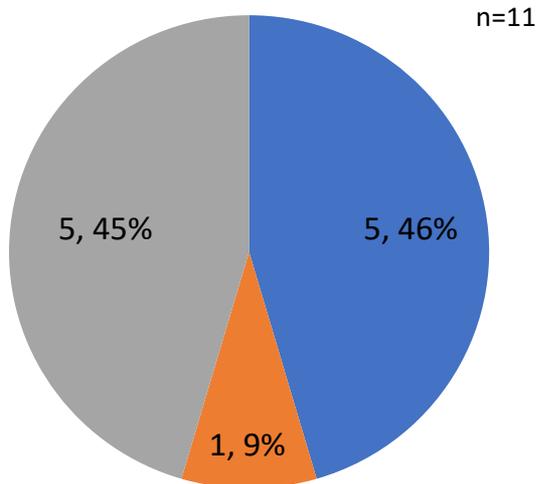


■ 受講済み ■ 未受講 ■ 受講予定

# 4-② 医療被ばく安全管理者講習会の受講

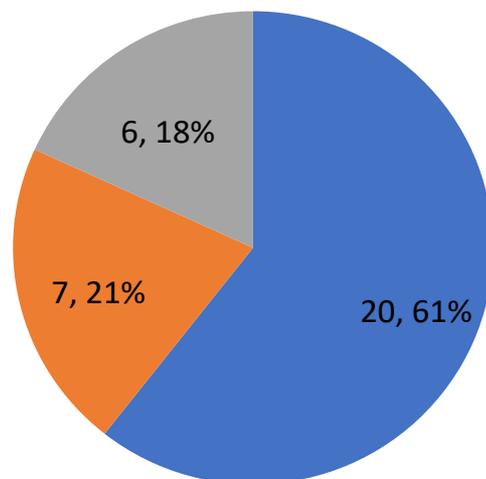
## 放射線科医師

■ はい.5 ■ いいえ.1 ■ 今後受講予定.5



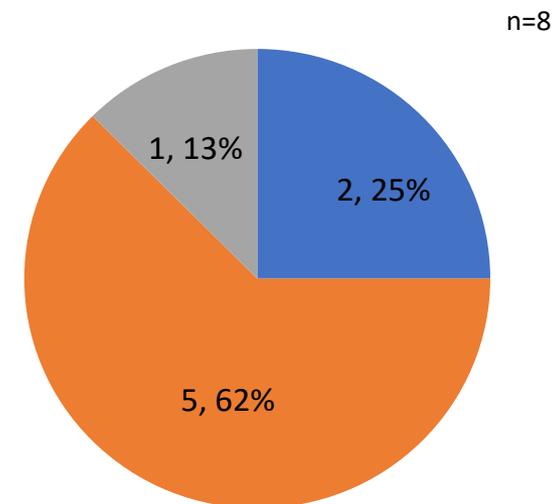
## 診療放射線技師

■ はい.20 ■ いいえ.7 ■ 今後受講予定.6

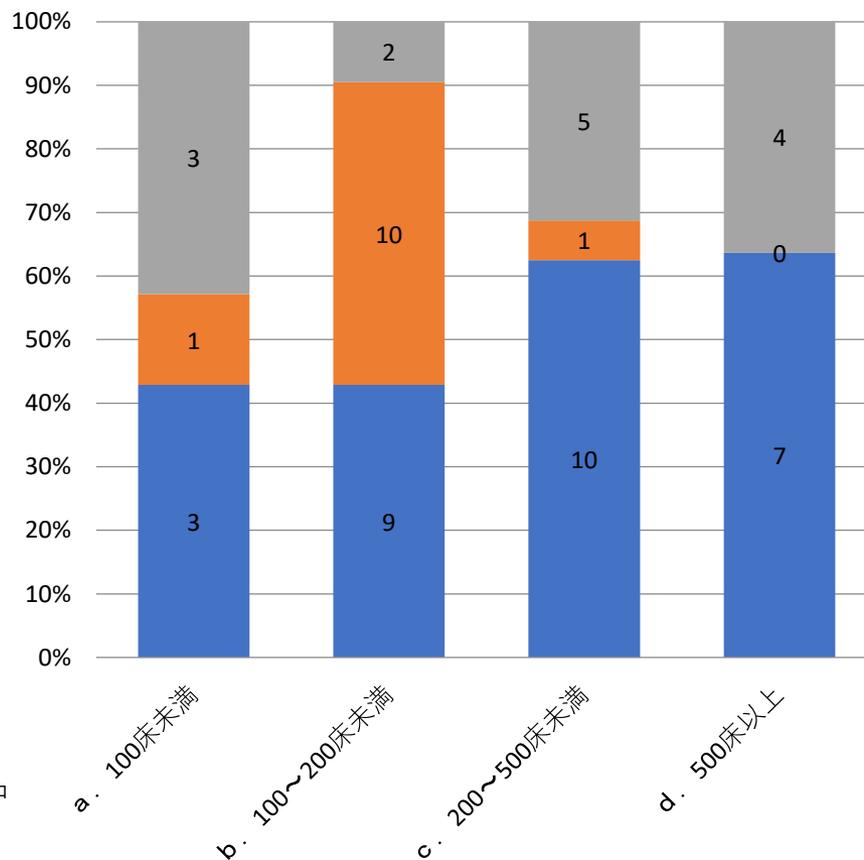
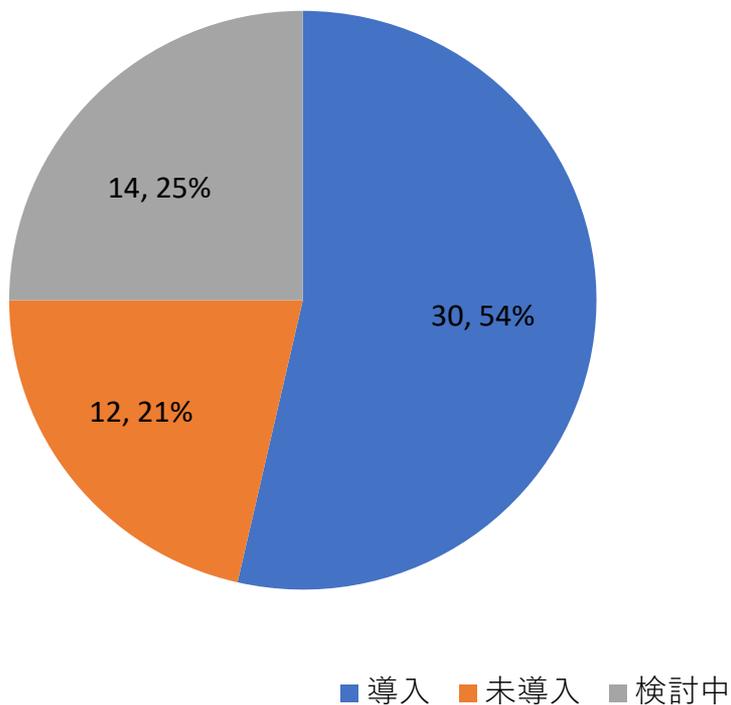


## その他の医師または歯科医師

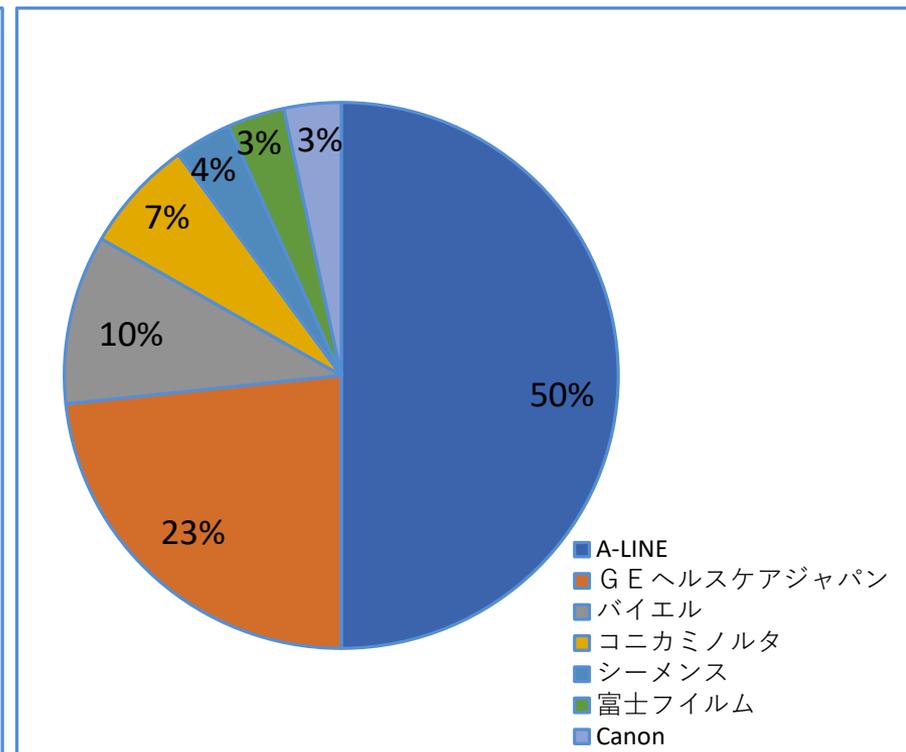
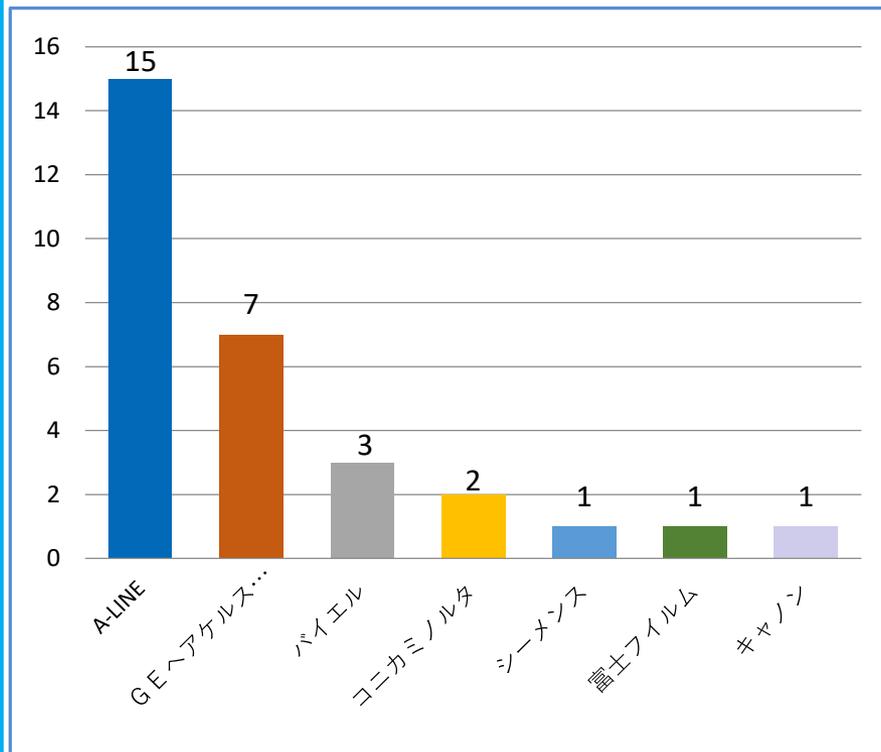
■ はい.2 ■ いいえ.5 ■ 今後受講予定.1



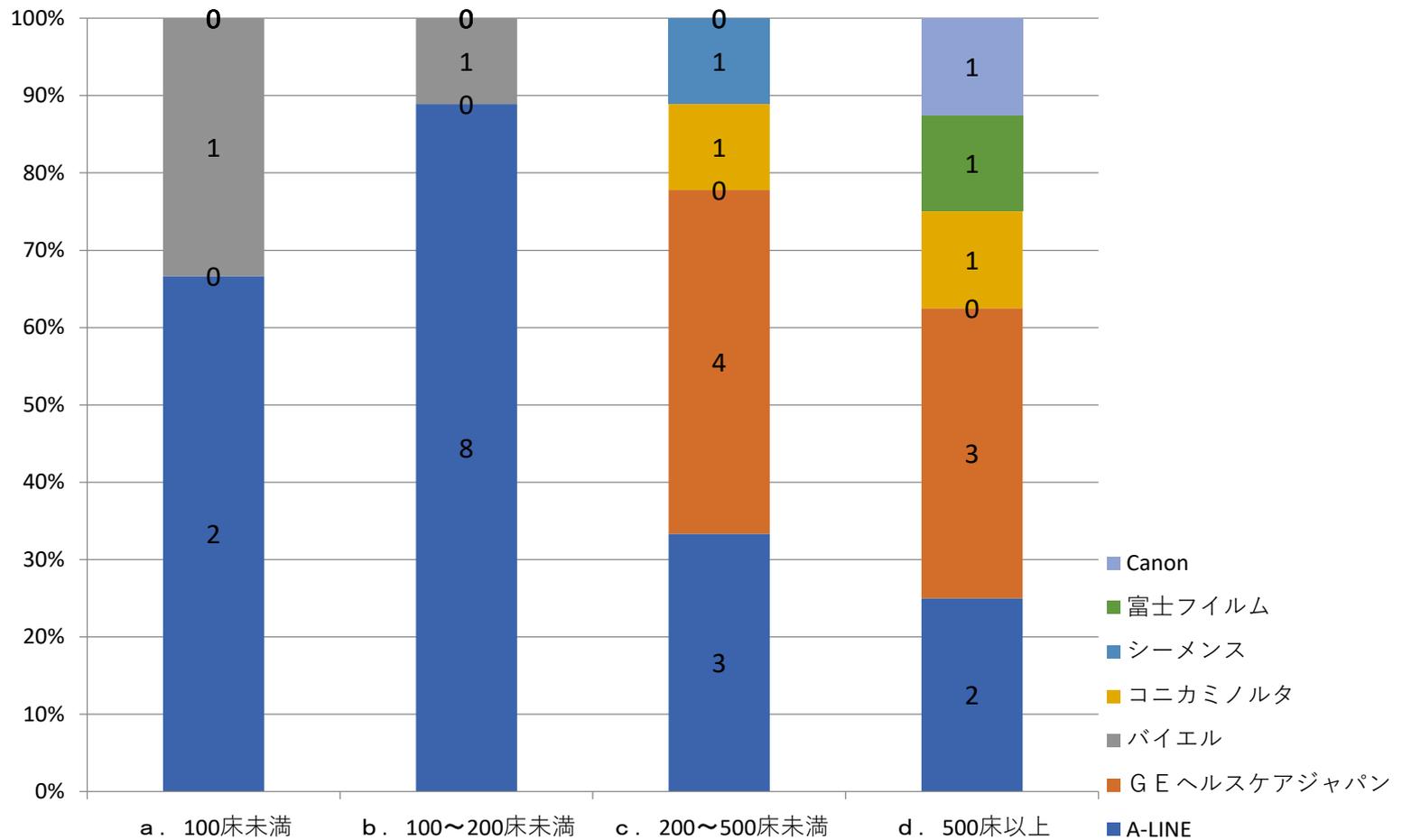
# 4-③ 被ばく管理システム導入状況



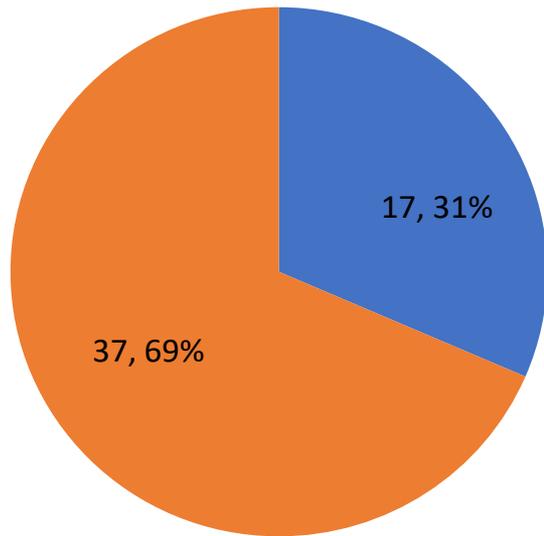
# 4-③ 被ばく管理システム導入状況 メーカー別



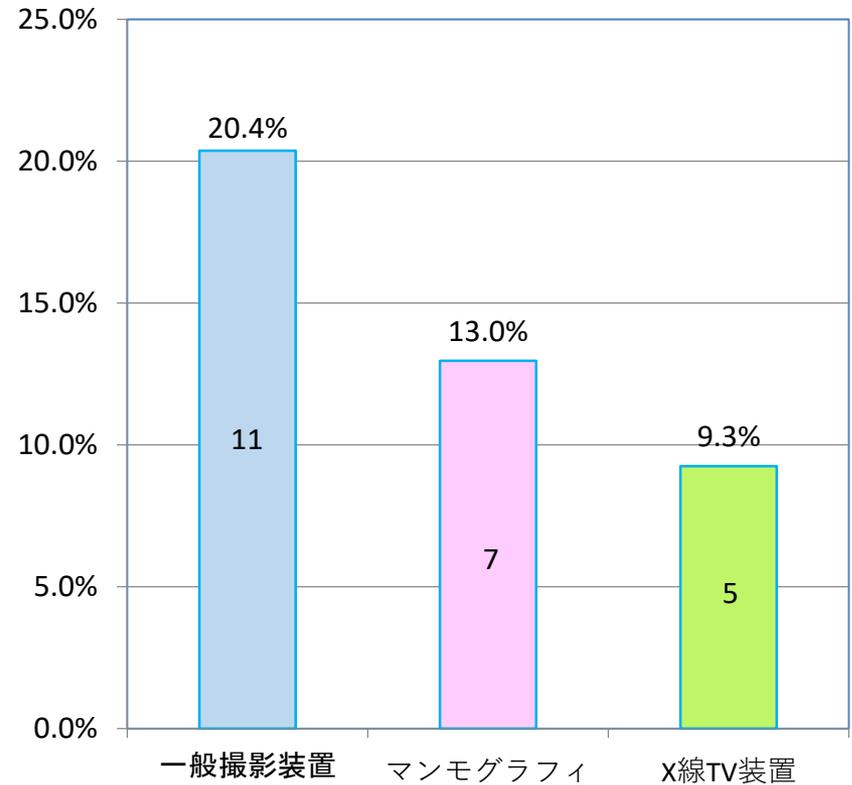
# 4-③ 被ばく管理システム導入状況



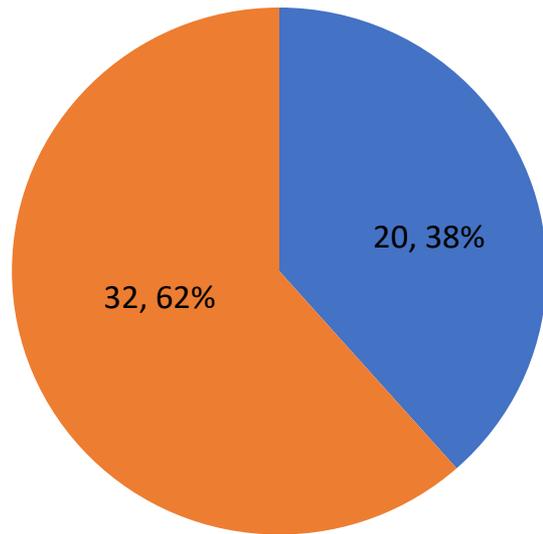
# 4-④法令で求められる機器以外にRDSR出力・MPPS送信可能な機器



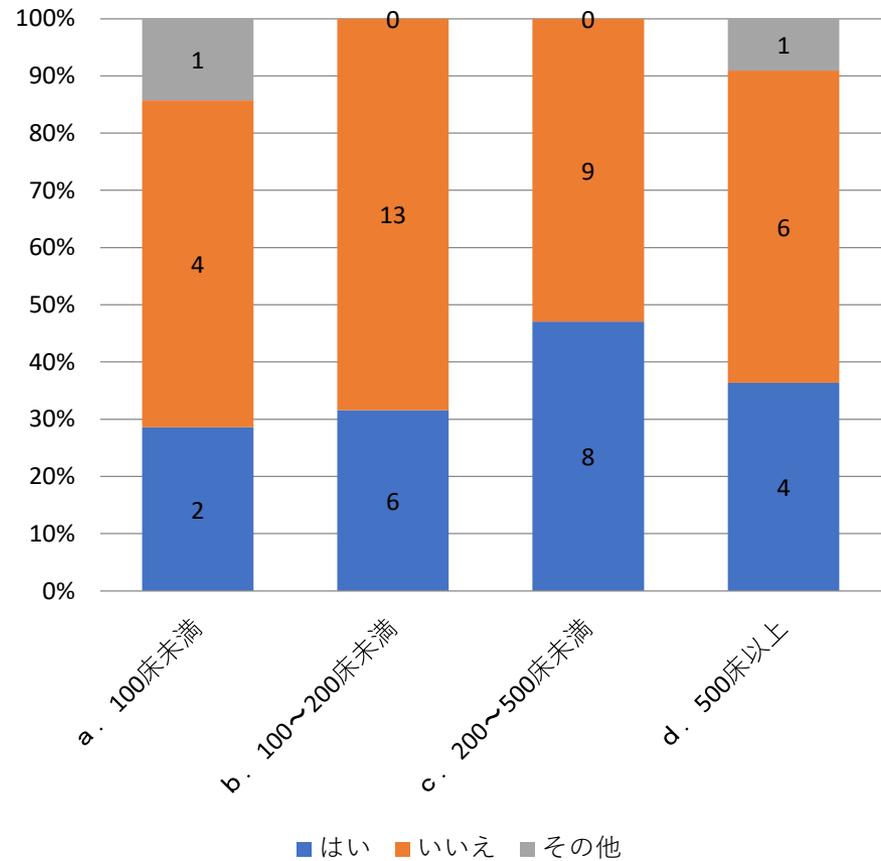
■ はい:17/54 ■ いいえ:37/54



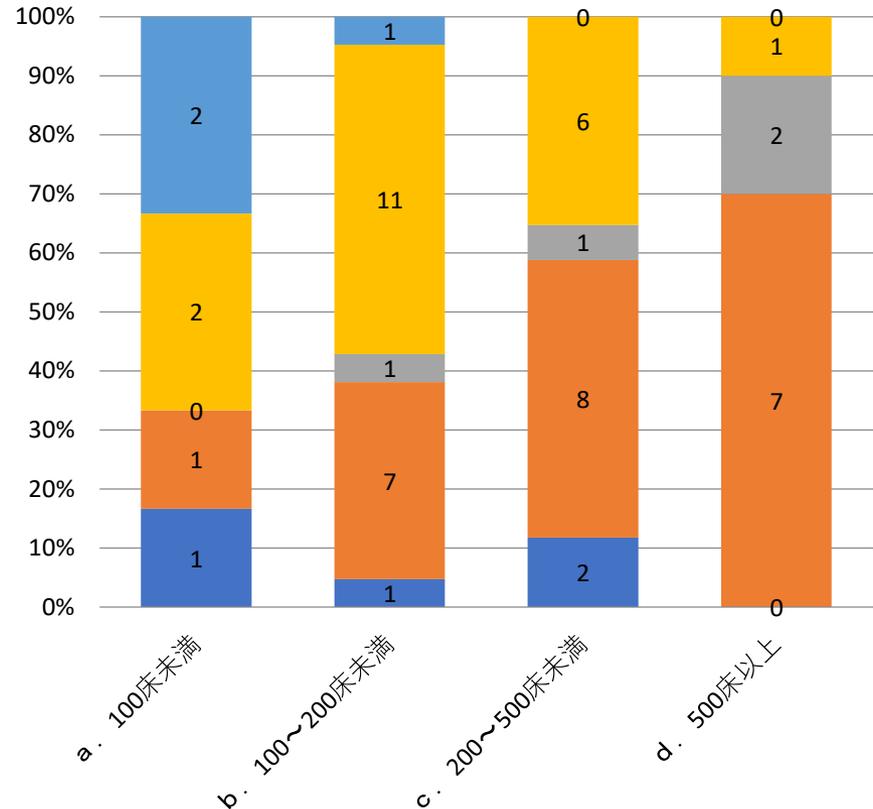
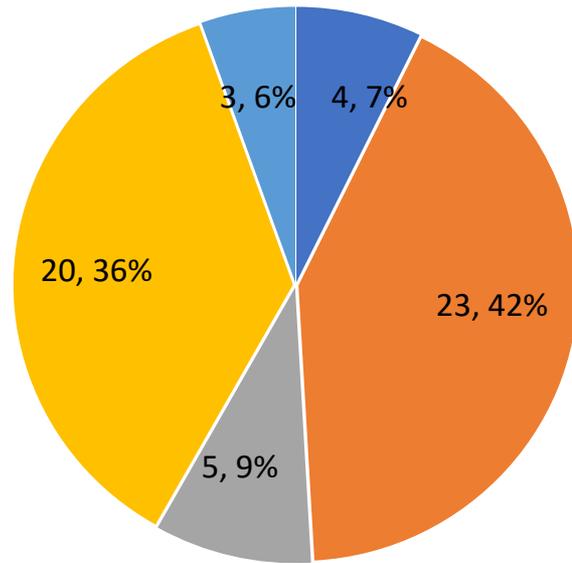
# 4-⑤ 再撮影の被ばく管理



■ はい ■ いいえ



# 4-⑥ 一時立ち入り者の被ばく管理

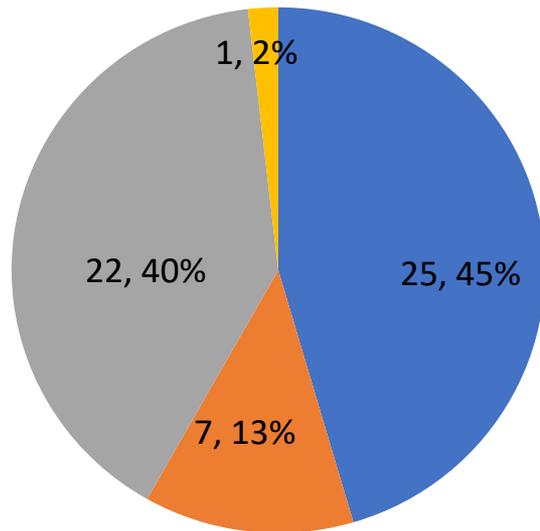


- a. 無記名ガラスバッジ
- b. ポケット線量計
- c. ガラスバッジとポケット線量計の併用
- d. 現在は行っていない
- e. その他

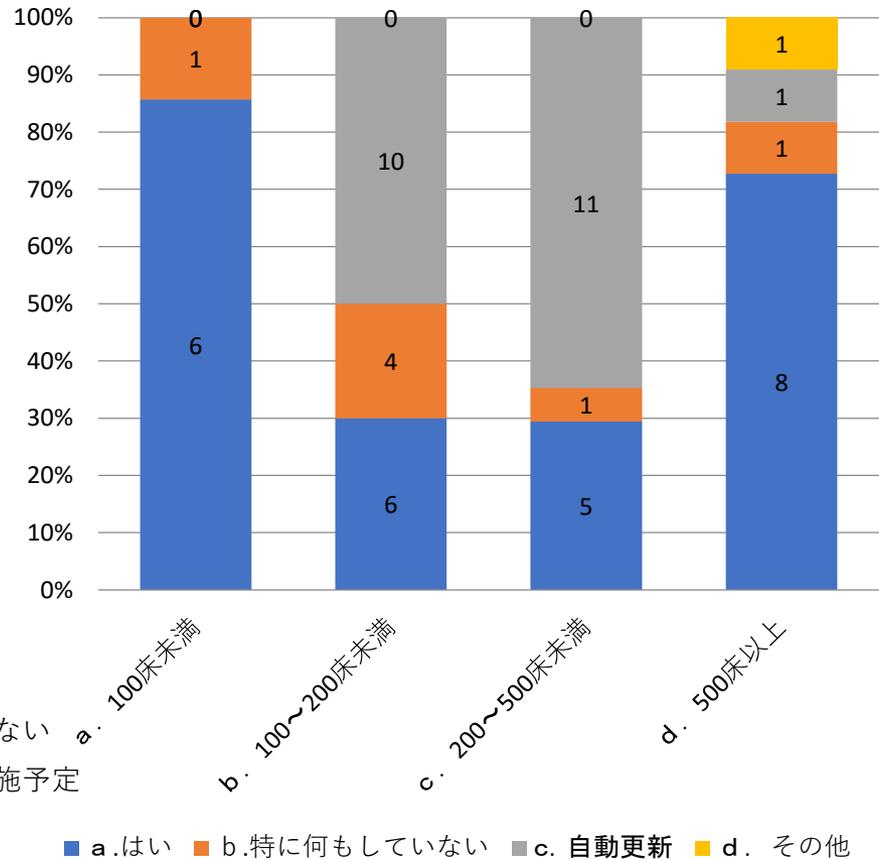
## その他のコメント

・ガラスバッジのみ    ・個人線量計    ・記名ガラスバッジ

# 4-⑦ 前職場からの被ばく線量記録管理



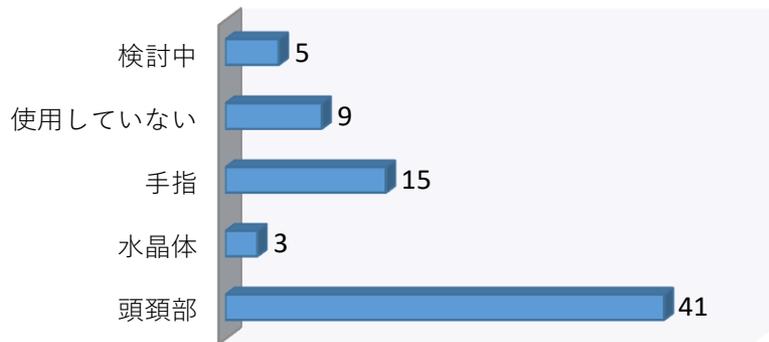
- a. はい
- b. 特に何もしていない
- c. 自動更新
- d. その他：今後実施予定



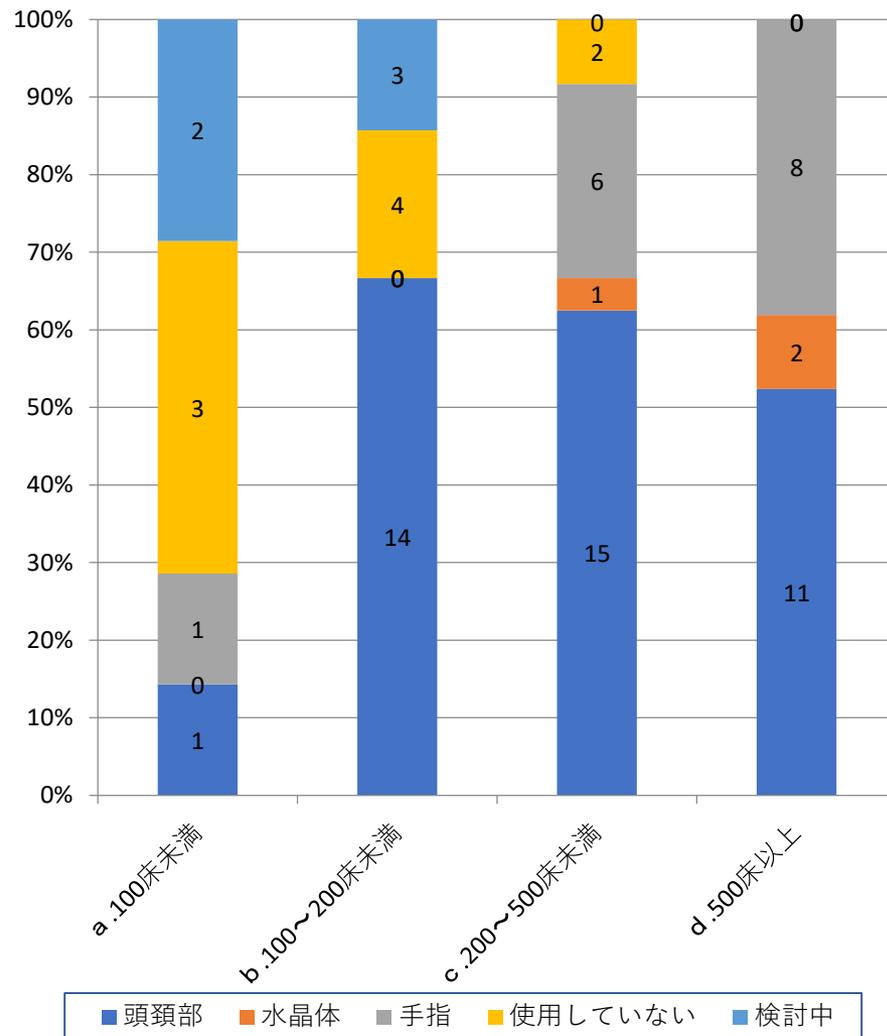
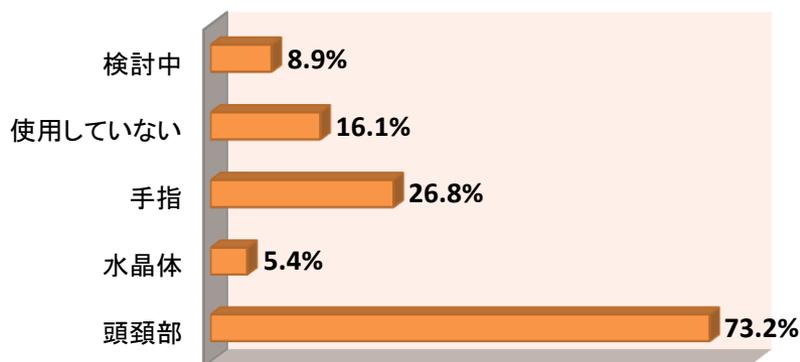
- a. はい
- b. 特に何もしていない
- c. 自動更新
- d. その他

# 4-⑧不均等測定用ガラスバッジ・リングの有無

## 施設数



## 施設割合



# 4-⑨医師の「医療被ばくの患者への説明 及び同意」のカルテ記載

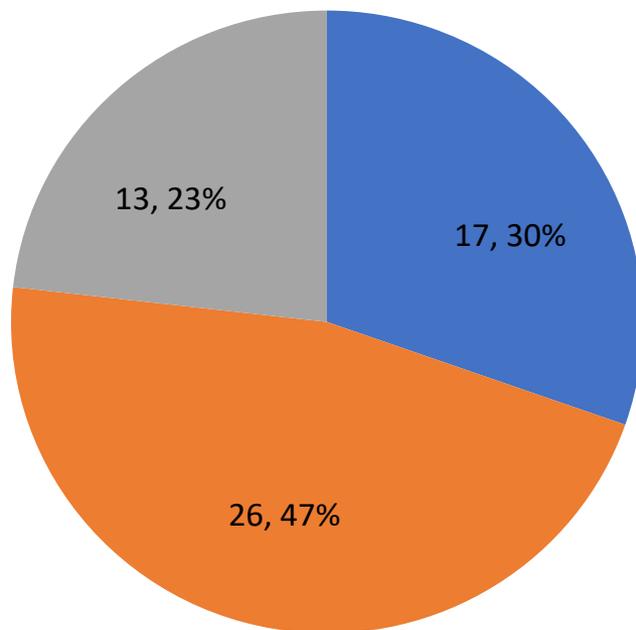
- ・医師が説明を行い、カルテに記載する。
- ・電子カルテ上に記入
- ・被ばく説明書を配布し、その旨(説明した)をカルテ記載
- ・別用紙に署名し電子カルテに保存
- ・紙カルテにシャチハタで「放射線検査について説明を行った」と記載。
- ・同意書にて
- ・同意書の電子カルテ保存
- ・複写式の説明・同意書にサイン後一部をカルテに貼付。
- ・CT.核医学は検査オーダーコメントに医師が記載
- ・CT.血管撮影、核医学のオーダー時に説明用紙が出力され説明を行う。  
意識がない、緊急を要する場合はその旨をカルテに記載する。
- ・患者さんへ検査の説明と被ばくについての説明をしたら、テンプレートを使用し患者さん  
への説明をした旨をカルテ貼付。
- ・CT検査一回につき1枚の同意書を準備、カルテ保管。控えを患者へ。同日2回目以降も必ず同意書を記載。
- ・一般撮影:説明及び同意を得た旨の文言を定型文で記載、CT:「医療被曝を説明し同意を得た」or  
「認知機能低下で説明不可」のどちらか一方の必須コメントを選択しないとCTオーダーができない運用。

## 4-⑨

- ・検査オーダー画面内の検査説明「放射線被ばくと影響について説明し、同意が得られた」をチェック(必須項目)することにより電子カルテに記録が残る ・電子カルテの検査オーダー時に表示されて文言が記録される。
- ・CT検査依頼時に”被ばく説明書”が自動印刷され患者へ渡している。また、このとき電子カルテのCTオーダー項目に”被ばく説明済み”と自動記入される。同意は取っていない。
- ・診察時にCTの検査説明に電子カルテ上で検査依頼時に「医療被ばくの患者への説明及び同意」をクリックしてから依頼が出せるシステムを検討中
- ・現在まだ対応できていないが、CT・アンギオは説明及び同意済みの文言が電子カルテに残るシステムを導入検討中。
- ・説明後チェックボックスを有効にしないとオーダーが飛ばない仕組みを整えた。しかし現状集合研修ができていないので感染状況を見て始動する。
- ・2月の医療被ばく安全管理者講習でカルテに記載するよう提案
- ・検査オーダー時に説明同意の確認がポップアップする運用を検討中
- ・法律で決められていないため、行っていない
- ・現在検討中。 説明文と判子を利用と考えている。
- ・カルテ記載はされていません。検査オーダーを入力された時点で、医療被ばくに対して同意が得られたとの認識で検査を実施しています。
- ・説明等は行っているが、カルテ記載はしていない

# 4-⑨医師の「医療被ばくの患者への説明 及び同意」のカルテ記載

フリーコメント回答集計



■ 実施 ■ 未実施 ■ アンケート記載なし

# まとめ

- 医療放射線安全管理責任者は診療放射線技師が60%、放射線科医およびその他医師が共に20%。
- 医療被ばく安全管理者講習会の受講状況は病床数が多い施設、放射線科医および診療放射線技師が責任者を担当施設の受講率が高い。
- 被ばく管理システムは50%の施設で導入されており、クラウド型、サーバー・PC型の導入率は同程度の普及。
- 法令で求められる機器以外のRDSR出力・MPPS送信可能な機器は3割程度と対応していない機器が多い。
- 再撮影の被ばく管理は施設規模に関係なく、4割の施設で管理。
- 前職場からの被ばく線量記録管理は、約9割と多くの施設で管理されている。
- 不均等測定用ガラスバッジの頭頸部は7割の施設使用されているが、水晶体を使用している施設は少ない。
- 医療被ばく説明及び同意に関するカルテ記載率は3割程度の実施に留まっている。

# 最後に

- 2019年放射線障害防止法よりRI規制法に名称変更および改正。
- 2020年4月医療法の改正により、診療放射線に係わる安全管理体制確保および被ばく線量の管理義務化について追加。
- 本年4月に電離則も従事者の被ばく管理や内容について改正にて医療放射線利用に於ける管理業務内容の変更。
- 2018年診療報酬改定で画像診断管理加算3・頭部MRI撮影加算の要件に適切な被ばく線量管理も含まれた。
- 今後、医療放射線管理を実施していない場合、法令違反や減額算定になることも考えられ管理者においては施設にて法令に沿った適正な管理が実施されているか、注意深く確認し監督することが重要。